

2007年3月期第1四半期(2006年6月) 連結決算発表総合表

2006年7月27日

双日株式会社

決算の主要特徴点

経常利益および純利益は新中期経営計画に沿って順調に進捗
(括弧内は前年同期比)

売上高 1兆2,276億円(+969億円)
・航空機、石油の取扱い伸長
・生活産業(食料、物資)の取扱い伸長

売上総利益 586億円(+30億円)
・自動車、航空機、資源関連が堅調
・木材、食料が回復基調

経常利益 218億円(+10億円)
・販管費は増加するも営業利益は増益確保
・関連会社が好調を維持

純利益 187億円(+3億円)
・特別損益は前年同期並で税引前利益も増益
・通期見通しの38%進捗

資本政策の実行により、資本構造の再編を一気に加速

優先株式の一括(2006年6月末残高5,634億円)

・5,604億円につき、4月28日に、買入総額を3,429億円~最大3,541億円とする買入契約を締結

・優先株式買入のための自己株式取得枠の設定、定款変更、および買入財源確保のための資本の部の組替え()について、6月27日の株主総会で承認

資本金1,205億円、資本準備金892億円を減少させ、その他資本剰余金に組入れ(7月末効力発生予定。なお当表上では、資本準備金とその他資本剰余金は資本剰余金に含めて表示しております)

・第一回種優先株式残高126億円については5月15日に全額普通株式に転換

CB3,000億円を発行(5月25日)

・CBの転換に応じて優先株式の買入れを行う
・6月末までに210億円が普通株式に転換(7月26日現在では340億円が普通株式に転換)

業績見通し

	中間期	通期
売上高	2兆5,000億円	5兆2,000億円
経常利益	380億円	830億円
純利益	240億円	490億円

(前提条件)

・為替レート(¥/US\$): 110
・原油価格(US\$/BBL): 50 Brent

要約損益計算書

	当四半期			左記 部分の摘要	上半期見通し	
	実績 a	実績 b	増減 a-b		c	進捗率 a/c
売上高	12,276	11,307	969	機械・宇宙航空セグメント 生活産業セグメント エネルギー・金属資源セグメント	+559 +373 +159	25,000 49%
売上総利益 (売上総利益率)	586 (4.78%)	556 (4.92%)	30 (-0.14%)	売上総利益 機械・宇宙航空セグメント 建設・木材セグメント	+17 +13	1,200 (4.80%)
人件費	-212	-190	-22			
物件費	-169	-178	9			
減価償却費 (小計)	-17 (-398)	-21 (-389)	4 (-9)			
貸倒引当金・貸倒償却 のれん償却額 (販管費計)	0 -10 (-408)	0 -10 (-399)	0 0 (-9)			
営業利益 (営業利益率)	178 (1.45%)	157 (1.39%)	21			350 (1.40%)
受取利息	32	33	-1			
支払利息 (金利収支)	-99 (-67)	-104 (-71)	5 (4)			
受取配当金 (金融収支)	22 (-45)	31 (-40)	-9 (-5)	〔メタルワン(+6)、アルミナ生産会社(+4)、 ニッケル生産会社(+2)、船舶関連(-10)〕		
持分法による投資利益 その他営業外収益 その他営業外費用 (営業外収支計)	65 54 -34 (40)	61 62 -32 (51)	4 -8 -2 (-11)			30 133%
経常利益	218	208	10			380 57%
有形固定資産等売却益 投資有価証券売却益 持分変動利益 貸倒引当金戻入益 過年度償却済債権取立益 (特別利益小計)	10 12 1 1 2 (26)					
有形固定資産等売却・除却損 関係会社等整理・引当損 特別退職金 (特別損失小計)	-1 -4 -1 (-6)					
(特別損益計)	(20)	(19)	(1)			-30 -
税引前当期純利益	238	227	11			350 68%
法人税等 法人税等調整額 少数株主利益	-47 -2 -2	-39 -1 -3	-8 -1 1			
当期純利益	187	184	3			240 78%
基礎的収益力	198	178	20			

〔CB転換および減資による資本の変動〕(減資は2006年7月末効力発生予定)

	06/3月末	CB転換	純利益	06/6月末	減資	減資後
株主資本	3,897	210	187	4,294	-	4,294
うち、資本金	1,305	105		1,410	-1,205	205
うち、資本剰余金	1,668	105		1,773	1,205	2,978
うち、利益剰余金	925		187	1,112		1,112

(注1) 基礎的収益力

基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金・貸倒償却控除前)
+ 金利収支 + 受取配当金
+ 持分法による投資損益

(注2) 将来情報に関するご注意

上記の業績見通しは、現在入手可能な情報から当社が現時点で合理的であるとした判断、および仮定に基づいて算定しております。従い、実際の業績は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動などさまざまな重要な要素により、記載の見通しとは大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせいたします。

要約貸借対照表と主要経営指標

(単位: 億円)

	06/6月末			左記 部分の摘要
	残高 d	残高 e	増減 d-e	
流動資産	16,285	15,105	1,180	
現金及び預金	6,454	5,219	1,235	CB発行による増加、短期借入金圧縮による減少
受取手形及び売掛金	6,053	6,135	-82	
有価証券	97	65	32	
たな卸資産	2,113	2,142	-29	
短期貸付金	412	442	-30	
繰延税金資産	93	89	4	
その他の流動資産	1,198	1,165	33	
貸倒引当金	-135	-152	17	
固定資産	9,774	10,102	-328	
有形固定資産	2,374	2,467	-93	
のれん	766	769	-3	
無形固定資産	235	232	3	
投資有価証券	4,659	4,883	-224	株価下落に伴う投資簿価の減少等
長期貸付金	371	389	-18	
固定化営業債権	1,651	1,765	-114	
繰延税金資産	323	239	84	
その他の投資	591	588	3	
貸倒引当金	-1,196	-1,230	34	
繰延資産	10	10	0	
資産合計	26,069	25,217	852	
流動負債	12,135	14,167	-2,032	
支払手形及び買掛金	4,266	4,514	-248	
短期借入金	6,397	7,756	-1,359	短期借入金の圧縮
コマーシャルパターナル	113	292	-179	
社債(一年内償還)	46	94	-48	
その他の流動負債	1,313	1,511	-198	
固定負債	8,996	6,409	2,587	
社債	3,764	990	2,774	CB発行による増加(+3,000)、CB転換による減少(-210)
長期借入金	4,564	4,731	-167	
退職給付引当金	245	256	-11	
その他の固定負債	423	432	-9	
負債合計	21,131	20,576	555	
資本金	1,410	1,305	105	
資本剰余金	1,773	1,668	105	CB転換による増加(+210)
利益剰余金	1,112	925	187	
自己株式	-1	-1	0	
(株主資本)	(4,294)	(3,897)	(397)	
その他有価証券評価差額金	793	905	-112	株価下落に伴う減少
繰延ヘッジ損益	0	-	0	
土地再評価差額金	-32	-26	-6	
為替換算調整勘定	-495	-506	11	
(評価・換算差額等)	(266)	(373)	(107)	1 当期より会社法の施行に伴う会計基準の変更に従い、従来の「資本の部」を「純資産の部」に変更し「少数株主持分」を含めて表示しており、当表上では比較のため前期末(06/3末)も同様に組替えて表示しております。
少数株主持分	378	371	7	
純資産合計	4,938	4,641	297	
負債・純資産合計	26,069	25,217	852	
GROSS有利子負債	14,884	13,863	1,021	
NET有利子負債	8,430	8,644	-214	
NET負債倍率	2 1.85倍	2 2.02倍	-0.17倍	2 NET負債倍率の分母及び自己資本比率の分子は、少数株主持分を除いて計算しております。
自己資本比率	2 17.5%	2 16.9%	0.6%	

2007年3月期 第1四半期 連結決算発表総合表 補足資料(1) - 事業セグメント別売上総利益・経常利益実績 -

2006年7月27日

双日株式会社

(単位：億円)

	売上総利益				経常利益			
	2006年 4-6月期	2005年 4-6月期	(増減)	主な増減理由	2006年 4-6月期	2005年 4-6月期	(増減)	主な増減理由
	実績	実績			実績	実績		
機械・宇宙航空	116	99	17	<ul style="list-style-type: none"> 自動車は、中南米、ロシア、中近東向け販売好調に伴う増益(+11) 航空機は、民間航空機事業による増益(+3) 船舶は、横ばい 一般機械は、双日マシナリー業容拡大等による増益(+4) 	34	29	5	<ul style="list-style-type: none"> 自動車は、中南米、ロシア、中近東向け販売好調による増益 航空機は、民間航空機関連好調等で増益 船舶は、順調なるも前年同期の共有船売却の影響で減益 一般機械は、双日マシナリーの業容拡大および半導体実装機の海外販売子会社の好調等で増益
エネルギー・金属資源	103	100	3	<ul style="list-style-type: none"> 石油・ガスは、上流権益事業で微増なるも、国内向け製品事業での価格転嫁の遅れにより減益(-4) 石炭は、豪州既存権益の生産開始等により増益(+6) 金属資源は、豪州アルミナプロジェクトやモリブデン事業が好調により増益(+9) 電力・プラントは、前年同期の変電設備納入が今期減少したことにより減益(-6) 	81	67	14	<ul style="list-style-type: none"> 石油・ガス・LNGは、横ばい 石炭は、既存権益の生産開始により増益 金属資源は、アルミナ価格の上昇等により増益 電力・プラントは、前年同期の変電設備納入が今期減少したことにより減益 メタルワンは、引き続き好調で増益
化学品・合成樹脂	103	109	6	<ul style="list-style-type: none"> 化学品は、石油化学基礎原料市況高騰に伴う買い増加(+3) 合成樹脂は、川上の原料商売は好調も、川下の製品への価格転嫁が浸透し切らず横ばい 肥料は、販売数量が増加(+2) メタノールは、定期修繕に伴う販売数量減少等により減益(-10) 	20	29	9	<ul style="list-style-type: none"> 化学品、合成樹脂、肥料は、ほぼ横ばい メタノールは、定期修繕に伴う販売数量減少等により減益
建設・木材	60	47	13	<ul style="list-style-type: none"> 建設は、ほぼ横ばい 木材は、国内合板市況の回復に伴う単体(+2)およびサン建材(+9)の好調により増益 	23	13	10	<ul style="list-style-type: none"> 建設は、ほぼ横ばい 木材は、国内合板市況の回復に伴い単体、サン建材ともに好調で大幅増益
生活産業	96	96	0	<ul style="list-style-type: none"> 繊維は、SPA向けが好調であるも、小売販売不振により減益(-2) 食料は、水産関連の好調により増益(+2) 物資は、ほぼ横ばい 	8	14	6	<ul style="list-style-type: none"> 繊維は、小売販売不振、新設会社経費増により減益 食料は、ほぼ横ばい 物資は、リテール関連の不調により減益
海外現地法人	64	66	2	<ul style="list-style-type: none"> 米州は、機械関連ビジネスの取扱い減少(前年同期の反動減)等により減益(-3) 欧州は、食料が苦戦するも、産業プロジェクトや化学品・合成樹脂関連が堅調で増益(+1) 中国は、化学品・合成樹脂関連が好調により増益(+2) アジアは、ほぼ横ばい 	30	33	3	<ul style="list-style-type: none"> 米州の機械関連ビジネスの取扱い減少(前年同期の反動減)等により減益
5営業部門+海外現地法人	542	517	25		196	185	11	
その他	44	39	5	<ul style="list-style-type: none"> ヘルスケア関連事業の新規事業開発グループへの移管等(+2) 	22	23	1	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業開発グループの投資育成事業での減益
合計	586	556	30		218	208	10	

2007年3月期 第1四半期 連結決算発表総合表 補足資料(2) - 通期見通し -

2006年7月27日
 双日株式会社

(単位: 億円)

P/L

	2006年 4-6月期	2005年 4-6月期	増減	07/3期見通し (06/4/28公表)	進捗率
売上高	12,276	11,307	+ 969	52,000	23.6%
売上総利益	586	556	+ 30	2,530	23.2%
(売上総利益率)	(4.77%)	(4.92%)		(4.87%)	
機械・宇宙航空	116	99	+ 17	459	25.3%
エネルギー・金属資源	103	100	+ 3	411	25.1%
化学品・合成樹脂	103	109	6	445	23.1%
建設・木材	60	47	+ 13	248	24.2%
生活産業	96	96	+ 0	457	21.0%
海外現地法人	64	66	2	280	22.9%
その他	44	39	+ 5	230	19.1%
販管費	408	399	9	1,720	23.7%
営業利益	178	157	+ 21	810	22.0%
(営業利益率)	(1.45%)	(1.39%)		(1.56%)	
営業外損益	40	51	11	20	200.0%
経常利益 (1)	218	208	+ 10	830	26.3%
(経常利益率)	(1.78%)	(1.84%)		(1.60%)	
機械・宇宙航空	34	29	+ 5	115	29.6%
エネルギー・金属資源	81	67	+ 14	228	35.5%
化学品・合成樹脂	20	29	9	78	25.6%
建設・木材	23	13	+ 10	75	30.7%
生活産業	8	14	6	69	11.6%
海外現地法人	30	33	3	128	23.4%
その他	22	23	1	137	16.1%
特別損益	20	19	+ 1	100	-
税引前当期純利益	238	227	+ 11	730	32.6%
当期純利益	187	184	+ 3	490	38.2%
基礎的収益力 (2)	198	178	+ 20	810	24.4%

(1) 経常利益の事業セグメント別内訳は社内管理ベースの参考数値です

(2) 基礎的収益力 = 営業利益(貸倒引当金・貸倒償却控除前) + 金利収支 + 受取配当金 + 持分法による投資損益

経常利益の足元の状況

通期見通しに対する進捗率は全体で約26%と順調。事業セグメント別の状況は以下のとおり

機械・宇宙航空

- ・自動車は、引き続き海外子会社を中心に順調に進捗
- ・航空機は、ボーイング関連を中心に進捗好調
- ・船舶は、新造船および船用機器販売他全体的に順調
- ・一般機械は、全般的に順調であり、取分け製鉄関連、自動車関連、半導体実装機が好調

エネルギー・金属資源

- ・石油・ガス・LNGは、計画通りの進捗
- ・石炭は、見込み以上に価格が高値で推移し、好調
- ・金属資源は、アルミナの販売良好に加え、モリブデン市況も想定以上に高値推移し、進捗は好調
- ・電力・プラント関連は、概ね計画通り
- ・メタルワゴンも好調

化学品・合成樹脂

- ・化学品は、石油化学基礎原料市況高騰するも、旺盛な需要に支えられ価格転嫁が進み好調を維持
- ・合成樹脂は、川上の原料商売は好調も、川下への価格転嫁が難しい状況
- ・肥料は、販売数量、販売価格とも堅調に推移
- ・メタノールは、定期修繕があったが、工場は安定操業しており、市況も想定以上の推移で環境は良好

建設・木材

- ・建設は、マンション販売、商業施設開発事業共に順調で、概ね計画通り
- ・木材は、国内合板市況の回復に伴いサン建材を中心に好調

生活産業

- ・繊維は、進捗率は低いものの、下期型であり、概ね計画通り
- ・食料は、水産関連が順調に推移し、概ね計画通り
- ・物資は、チップ事業は堅調に推移したが、リテール関連の不調により、計画を下回る

海外現地法人

- ・全体としては計画通りの進捗

その他

- ・概ね計画通り

B/S

	06/6末	06/3末	増減	07/3末見通し (06/4/28公表)
総資産	26,069	25,217	+ 852	25,000
自己資本 (3)	4,560	4,270	+ 290	4,200
(純資産合計)	(4,938)	(4,641)	(+ 297)	-
自己資本比率 (%)	17.5%	16.9%	+ 0.6%	16.8%
ネット有利子負債	8,430	8,644	214	10,400
ネットDER (倍)	1.8	2.0	0.2	2.5
(ネットDER(倍) 純資産合計ベース)	(1.7)	(1.9)	(0.2)	-

(3) 自己資本 = 純資産の部合計 - 少数株主持分